

2025年1月17日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

福岡工業大学（証券コード：－）

【維持】

発行体格付： A+ [安定的]

【格付理由】

大学及び大学院を擁する福岡工業大学に加え、短期大学部と高等学校を設置する学校法人。福岡市東区のJR福工大前駅の隣接地に設置校全てのキャンパスを構え、立地に恵まれる。教育・研究の両面において良好な実績を積み上げ、九州地区の教育機関の中で地位を高めつつある。2024年4月には時代のニーズに応じた人材育成を目的に、情報工学部で学科改組により情報マネジメント学科（データサイエンス関連）を設置した。志願者数、入試難易度ともに安定推移し、学生募集力は比較的強い。

「For all the students-すべての学生生徒のために」を経営理念に据え、設置校全ての教員と職員一丸となって組織的に法人運営面で改革・改善に努め、成果を残している。文部科学省が公募する「私立大学等改革支援事業」に申請し、長期間にわたり数多くのタイプに認定され、学校改革に積極的に取り組んでいる。教育及び就職支援面での手厚いサポートと実績は、教育関係者や企業採用担当者からの評価が高い。現行の中期経営計画では、教育機関としての付加価値を高めることを目標に掲げ、順調に進捗している。2025年度からは次期計画期間に入る予定で、内容を確認していく。

2024年度の大学入試の延べ志願者数は対前年度比17.6%減、実志願者数は同5.8%減の実績だった。18歳人口減少が続く中、受験生1人当たりの出願校数減少、年内入試（推薦型及び総合型選抜）の増加などが響いた。一般選抜の志願倍率（志願者数÷募集定員）は九州私大2位であり、学生募集力に変化はない。年内入試の増加に応じて2025年度入試で総合型選抜の募集定員を39人増やした。工学部と情報学部では女子枠も設定した。意欲的で優秀な学生増加につながるか、注目している。

2023年から2名の副学長が学長を補佐する体制に変え、教育の高度化実現に向けて改革に取り組んでいる。教育面で要となる「教育開発推進機構」は、学位授与・卒業認定の基本指針やカリキュラムの見直しを進めており、進捗を確認していく。2024年度には大学院のてこ入れを狙い、学部と大学院の6年一貫教育プログラムを開始した。滑り出しは比較的順調で、中長期的な効果に期待がかかる。産学連携推進室を通じた民間企業との連携拡充は好調に推移しており、外部資金の獲得は増加傾向にある。

教育・研究活動やキャンパスなどの施設整備に資金投入しつつ、健全財政を保つことを基本方針に掲げている。事業活動収支差額の金額は大きくない半面、予算管理の精度が高く、財務運営は手堅い。設置校全てが黒字を確保している。近年は国の各種補助金獲得や競争的資金の採択が奏功し、余剰資金の運用益も収益を下支えしている。内部留保資産比率などの財務構成は格付に見合っている。教育・研究面の強化に向けた長期的な施設整備の動向と財務基盤への影響などに注目していく。

【格付対象】

発行者：福岡工業大学

【維持】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	福岡工業大学
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2025年1月17日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。